

会合

令和2年度 ASEAN 向け省エネ支援事業のタイ TOT を実施しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省の委託（新興国等におけるエネルギー使用合理化等に資する事業・省エネルギー人材育成事業）を受けて、2020年12月14、15、16日の3日間、オンラインでタイから模擬訓練を実施しました。従来はASEAN各国からタイのミニプラントに出向し、設備に触れながら診断訓練を実施してきた。本年度はCOVID-19の影響で訓練状況をオンラインで確認する方式で訓練を実施しました。

- (1) 事前撮影ビデオ観察による診断方法の取得
- (2) ビデオやライブ中継の講義による熱・電気技術の習得
- (3) 理解度確認試験の実施



ビデオ事前撮影



ライブ講義



ECCJ



ASEAN 各国の参加状況

「令和2年度のASEANに対する省エネ人材育成事業」のスキーム2プログラムの一環でタイのミニプラント設備を使った模擬訓練をオンラインで実施しました。訓練にはASEAN各国からエネルギー管理士トレーナー候補の16名、ACEから1名の合計17名が参加し、12月14日から16日の3日間で訓練および理解度確認試験を完了しました。

- (1) ポンプ、ファン、圧空、スチームトラップ、オープンバーナー、照明、空調など例年と同様のカリキュラム内容で講義および省エネ診断手法を学ぶことができました。
- (2) 最終日には理解度確認試験をオンラインで実施することができました。
- (3) 今回初めて実施したオンライン研修は、①現地に出向する必要がなく渡航費用がかからない、②多くの受講生が参加できる、③研修の受講機会が増えるなどの多くのメリットが確認できた一方で、実際の設備に触れることができないので、目には見えるが、温度や音や雰囲気を感じられないというデメリットがあります。今後は、実際の設備に触れる研修方法とオンライン研修との組み合わせが有効な手段となると思われます。
- (4) 今回の試験結果と2月に実施予定のECAP22における診断報告および試験結果を総合的に評価して、トレーナーとしての認定を行います。